

ひぼう中傷の書きこみについて

インターネットには、誰でも自由に自分の意見を書き込むことができるサービスがあります。しかしその手軽さや、匿名で書き込みができることから、問題のある書き込みをしてしまう人も少なくありません。そんな問題のある書き込みのひとつが、ひぼう中傷の書き込みです。

ひぼう中傷の書き込みの例と、その影響

1. 友だちの写真や動画を載せて、冗談半分に悪口を書いたもの

自分は冗談のつもりでも、相手がどう感じるかはわかりません。傷ついたり、怒ったりする可能性があります。また、書き込みを見た第三者から、いじめと疑われることもあります。

今日撮った写真SNSに投稿しよう。あいつからどんな返信がくるかな♪

B男



なんだよこの投稿！勝手に人の写真載せた上にうざいって！



2. 対象が誰なのか不明な中傷

誰に対して言っているかわからないので、書き込みを見た人たちが「自分に対して言っているのかも」と考えて、人間関係が悪化してしまうことがあります。



C子

@xxxxxxx

あいつ本当にムカつく！もうあいつの顔見たくない！



これたぶん私のことだよな……

もしかして私に言ってる？



3. 匿名で嘘の悪評を書き込んだもの

嫌がらせ目的で、匿名掲示板などに書き込んだものです。書き込みがエスカレートして、いじめなどに発展してしまうことがあります。

■■ 掲示板

○○学校について語れ

1 名無し:20xx/xx/xx

□□部の2年○×D男は、前の学校でひどいいじめをしていました。



ひぼう中傷の書き込みは、対象の人物を傷つけてしまいますし、いじめなどのトラブルに発展することもあります。面と向かって言えないことはインターネットにも書き込まないこと、相手がどう感じるかを考えて書き込みを行うことを心がけてください。

もし自分に対するひぼう中傷の書き込みを見つけたときは、反論するような書き込みはせず、すぐに周りの大人たちに相談しましょう。

インターネット上での **困った 悩み 助けて!** は…

栃木県ネットトラブルWEB相談窓口

https://webreport.pit-crew.co.jp/tochigi_form

